

〈開場〉 総社高校箏曲部の演奏で皆様をお迎えします。  
(大森彩加・上田理緒・金原希成・吉永さくら・木村有貴)

〈開演〉 一、長唄 末広狩 作詞/三世 桜田治助 作曲/十世 杵屋六左衛門

唄 杵屋勝彦  
三味線 杵屋浩基  
小 鼓 河合志穂 島田聰子 神田元子 杉本日向子  
平松 有 杉本恭子 船越長平  
大 鼓 望月太津友帆  
太 鼓 平松優貴 古谷勇人 古谷宏太 高木隆之介

主人の女大名から末広(扇)を買ってくるように言われた太郎冠者が間違っ傘を買ってきます。太郎冠者を恋の使いとして扇にこよせて恋が結ばれ、併せて御代太平を祝います。美しく緩ったやさしいのどかな曲です。

二、語り と音楽による 三枚のお札 作曲/水川寿也

朗 読 水野智晴  
一 箏 狩野章定 難波章香 吉井章洋  
二 箏 前田章聖 光山章由美  
十七絃 山本章敦  
三 絃 山本章智 菅田章喜  
尺 八 加東吹山

この民話は、どこの山寺が舞台になっても不思議ではありません。国分寺かも…いえいえ、宝福寺が舞台かもしれませんよ。

三、長唄 鶴亀 作詞/不明 作曲/十世 杵屋六左衛門

唄 杵屋勝彦  
三味線 杵屋浩基  
小 鼓 守屋恵子 望月太津友貴 花柳菁穂 榎村紀世子  
大 鼓 望月太津友都  
太 鼓 榎田そよか 杉本佳乃子

この曲は能の鶴亀の詩章を長唄として作曲されたものです。唐(中国)の宮廷で元日の日、長寿を保つという鶴と亀の舞がまわれます。舞楽を演奏して皇帝と国の繁栄を祝い、その繁栄がいつまでも続くようにと歌われた名曲となっています。

(桜友会子供達による囃子レクチャー)

四、和楽器と朗読による 温羅と桃太郎 文/なんば・みちこ 曲/狩野章定

朗 読 水野智晴  
一 箏 狩野章定 菅田章喜 難波章香 吉井章洋  
二 箏 山本章智 前田章聖 光山章由美  
十七絃 山本章敦  
尺 八 加東吹山

詩人なんば・みちこ(総社市在住)さんの、地元総社にまつわる「温羅伝説」をモチーフとした「温羅と桃太郎」に心を動かされ、狩野章定が啓楽箏曲むつみ会総裁 森岡章作品を編曲。新作初演。

五、六段の調べ 作曲/八橋検校 編曲/宮田耕八郎

箏本手 狩野章定 難波章香  
箏替手 前田章聖 吉井章洋  
十七絃 山本章敦  
三 絃 山本章智 菅田章喜 光山章由美  
尺 八 加東吹山

小 鼓 望月太津友貴 望月太津友都 花柳菁穂 榎村紀世子  
箏曲のなかでもっとも有名な曲の一つです。今回は小鼓との共演です。

〈終演〉

平成27年 5月3日(日) 開場 14:30 開演 15:00~17:00 予定

会場 総社市山手公民館 多目的ホール

入場無料

TEL (0866) 93-1241

◆お問い合わせ◆

囃子桜友会(望月太津友貴) 090-2293-3455  
箏曲むつみ会(箏と朗読の会るふらん) 086-294-3491

主催: 総社市 総社市教育委員会  
第2回総社芸術祭2015 実行委員会(囃子桜友会・箏と朗読の会るふらん)

後援: 岡山県 岡山県教育委員会 公益社団法人岡山県文化連盟 RSK 山陽放送  
RNC 西日本放送 OHK 岡山放送 KCT 倉敷ケーブルテレビ KSB 瀬戸内海放送  
TSC テレビせとうち 朝日新聞岡山総局 山陽新聞社 中国新聞備後本社  
毎日新聞岡山支局 読売新聞岡山支局 順不同

